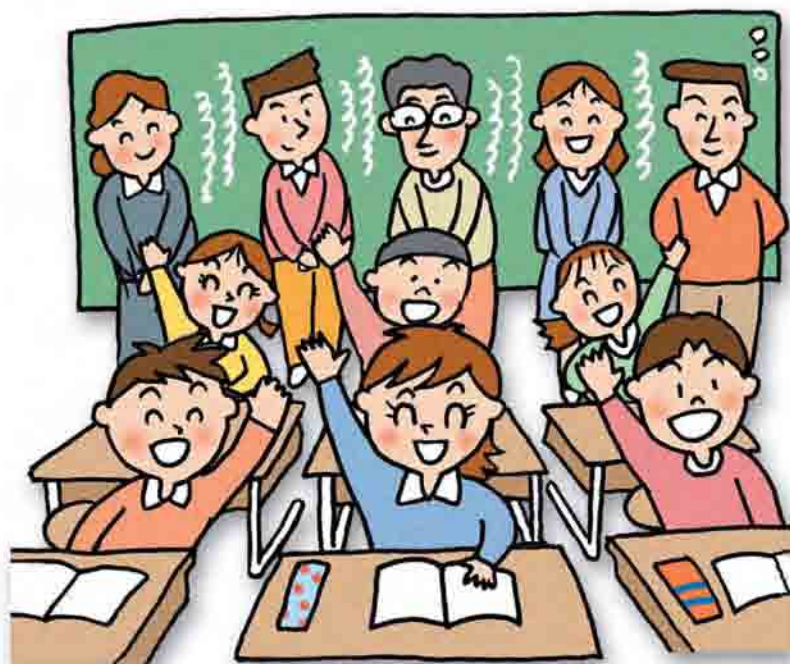


いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ~共に生きる~  
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2010年 **VOL.8**



## コンテンツ

- 特集—男女共同参画、あなたはどのように考えますか？  
    《男女共同参画に関する意識調査を実施》
- あ・らいくな人
- 男女共同参画市民フォーラムを開催
- 女性のためのステップアップ講座を開催

# 男女共同参画、あなたはどのように考えますか？

岩見沢市における男女共同参画に関する意識調査を実施しました。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議は、岩見沢市との協働により、岩見沢市民の男女共同参画に関する意識や実態を明らかにするとともに問題点を把握し、今後の男女共同参画の推進に向けた基礎資料とするため、平成21年12月に「男女共同参画に関する意識調査」を実施しました。

この調査は、岩見沢市に在住の満18歳以上の男女1,100人を対象に実施し、回収率は88.2%でした。

いわみざわ男女共同参画実践プランが策定（平成19年3月）されてから、初めての意識調査ということもあり、今回の調査で得たデータについては、岩見沢市における男女共同参画推進のための貴重な資料として活用することとしています。

なお、グラフの数値は四捨五入のため必ずしも100%になりません。

■「男女共同参画という言葉の認知度」については、「知っている」が男性で77.1%と、女性を約10ポイント上回っている。

■「男女の地位の平等」では、男女ともどの項目でも「男性が優遇されている」と考えている。特に「社会通念・慣習・しきたり」などで高くなっている。

■「男女が社会のあらゆる分野で平等になるために重要だと思うこと」では、男女ともに「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が最も高く、男女で違いはあるものの「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」で高くなっている。

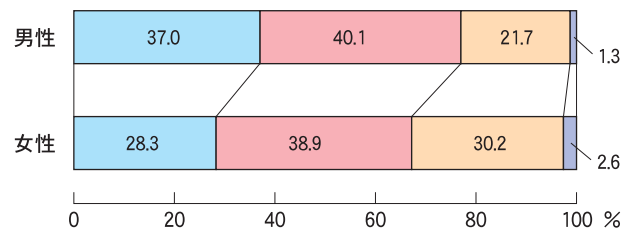
■「男は仕事、女は家庭という考え方」では、この考え方に「賛成」「どちらかといえば賛成」が男性で45.5%と、女性を約12ポイント上回っているのに対し、この考え方に「反対」「どちらかといえば反対」が女性で53.8%と、男性を約16ポイント上回っている。

■「女性が仕事をもつことについて」では、男女ともに「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も高く、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」で高くなっている。



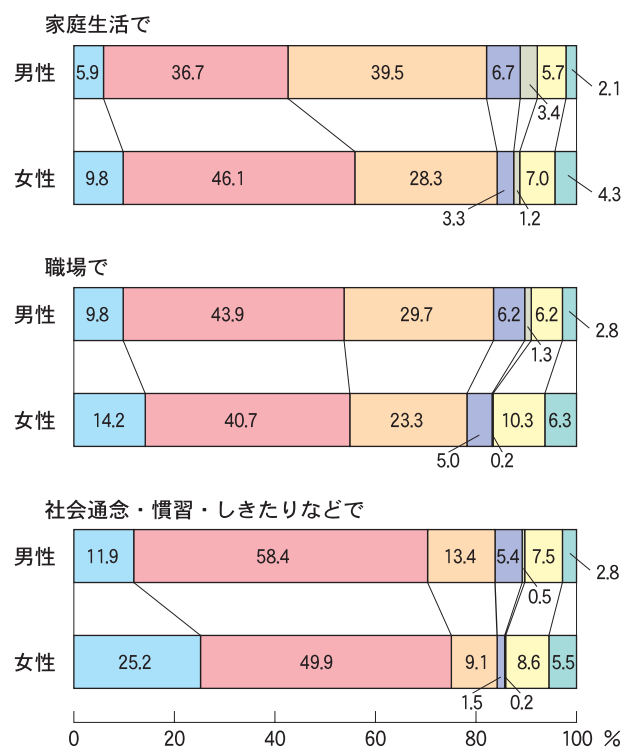
## 1. 男女平等について

■男女共同参画という言葉についてどの程度ご存じですか



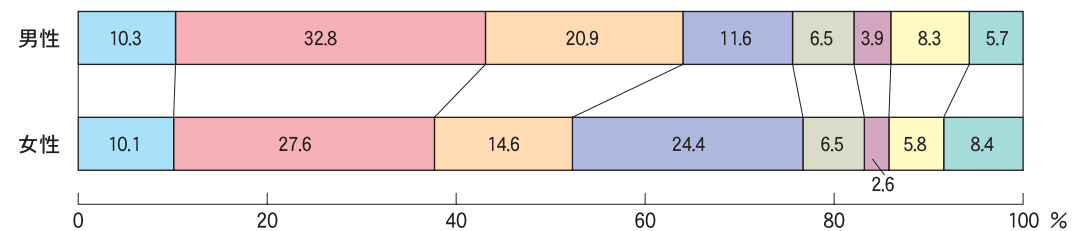
■言葉としても、その内容も知っている  
 ■言葉としては知っているが、内容は知らなかった  
 ■言葉としても、その内容も知らなかった  
 ■無回答

■次の各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。



■男性の方が非常に優遇されている  
 ■どちらかといえば男性の方が優遇されている  
 ■平等  
 ■どちらかといえば女性の方が優遇されている  
 ■女性の方が非常に優遇されている  
 ■わからない  
 ■無回答

■今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、あなたが最も重要だと思うことは何ですか



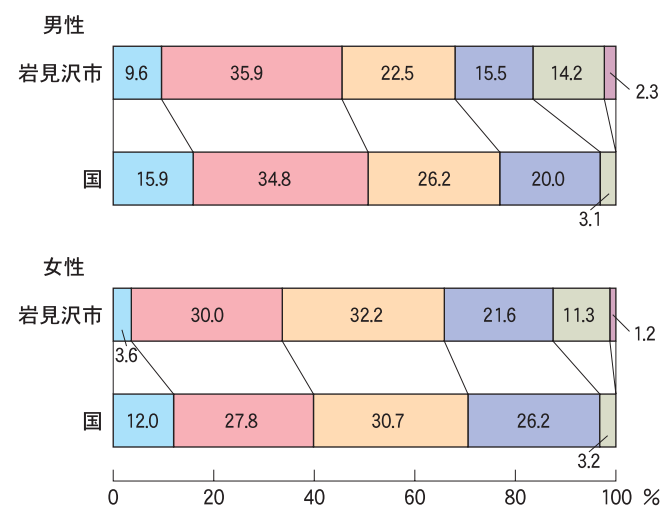
■法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること  
 ■女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること  
 ■女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に力の向上を図ること  
 ■女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること  
 ■政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること  
 ■その他  
 ■わからない  
 ■無回答

### その他の意見から

- ・子どもの頃からの教育が重要だと思う。
- ・給与の差別がなくなれば、だんだん平等になって行くと思う。
- ・どんなに良い制度が整えられても、女性自身が積極的に行動し、自覚し、自立することが大切だと思う。
- ・個人の適正について、尊重される環境づくりが重要だと思う。
- ・男女は肉体的にも相違するわけだから、全てに平等とはいかないのではないかな。

## 2. 役割分担意識について

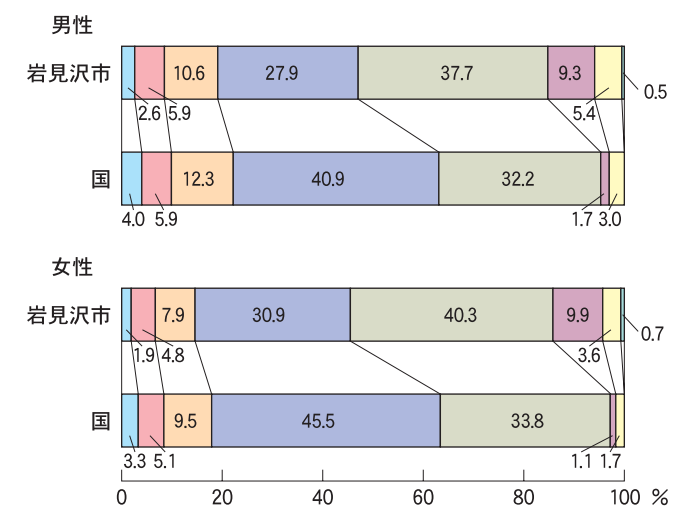
■「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか



■賛成  
 ■どちらかといえば賛成  
 ■どちらかといえば反対  
 ■反対  
 ■わからない  
 ■無回答



■女性が職業をもつことについて、どう考えますか



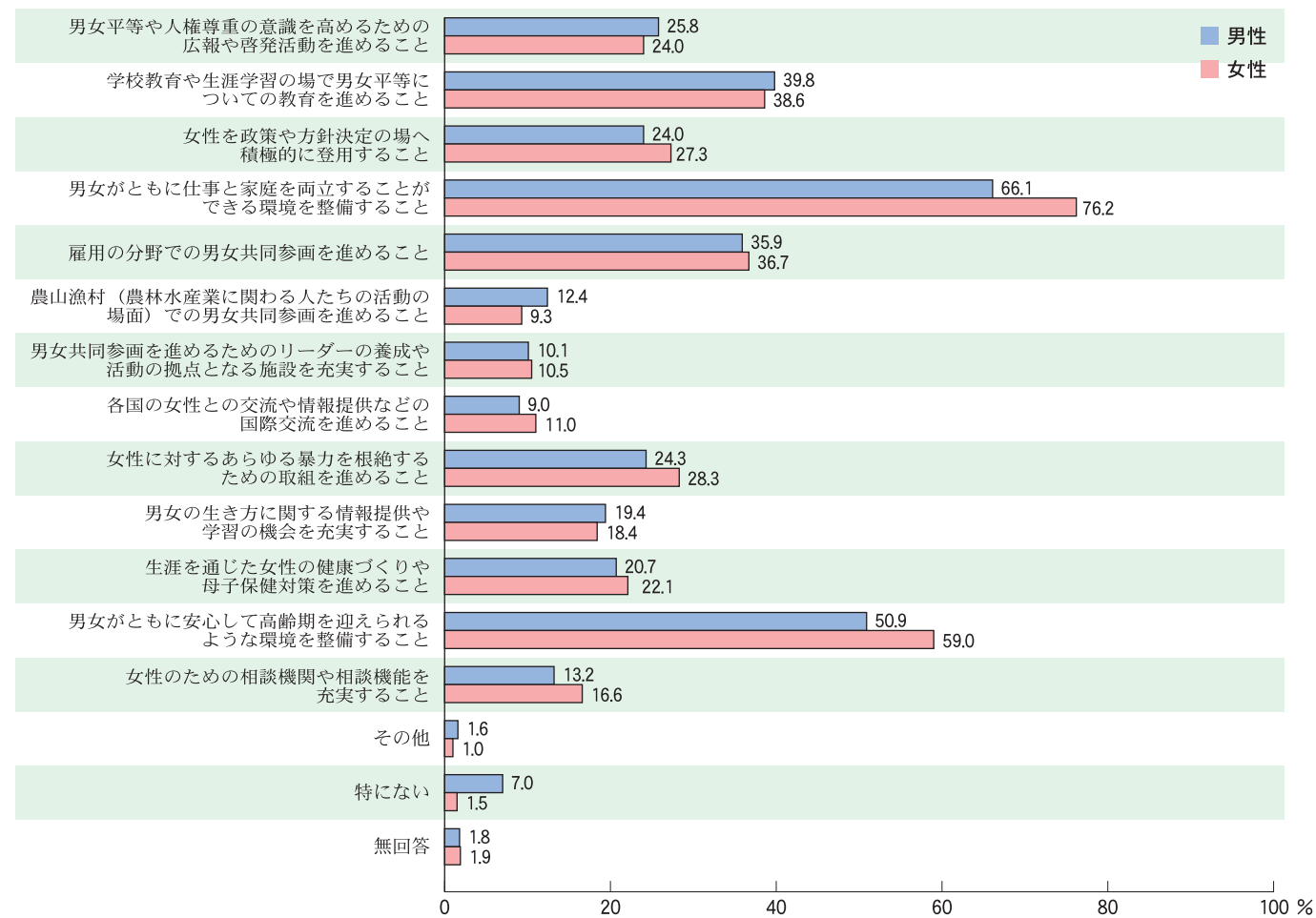
■女性は、職業をもたない方がよい  
 ■結婚するまでは、職業をもつ方がよい  
 ■子どもができるまでは、職業をもつ方がよい  
 ■子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい  
 ■子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい  
 ■その他  
 ■わからない  
 ■無回答

※資料：内閣府「男女共同参画に関する世論調査」平成19年

# 特集 男女共同参画に関する意識調査

## 3. 男女共同参画について

■女性と男性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、男女が共に参画する社会（男女共同参画社会）を実現するために、何が重要だと思いますか。



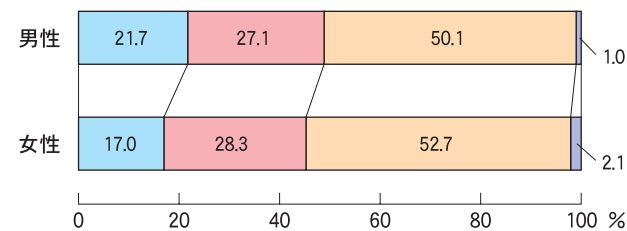
## 4. ワーク・ライフ・バランスについて

■「ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度」については、「知っている」が男女ともに50%を下回った。

■「生活の中での、仕事、家庭生活、地域・社会活動・個人の生活の優先度」では、男女ともに「仕事と家庭生活を優先したい」が最も高くなっているが、現実には、どちらも10ポイント前後下回っている。中でも、「仕事を優先している」が、男女ともに希望を大幅に上回っている。



■「仕事と生活との調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか



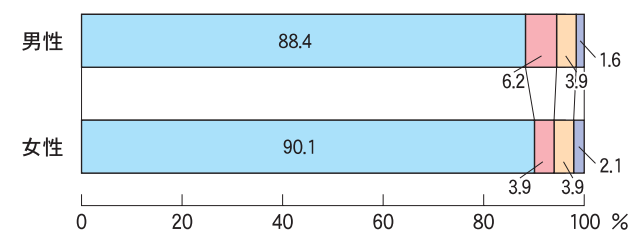
■言葉も内容も知っている  
■言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない  
■言葉も内容も知らない  
■無回答

## 5. ドメスティック・バイオレンス（DV）について



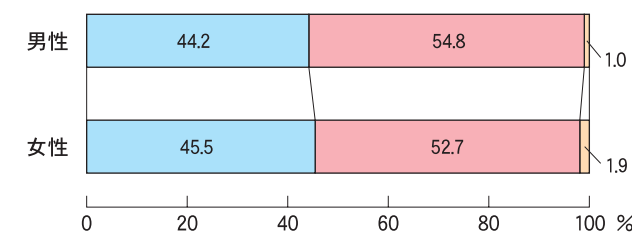
■「ドメスティック・バイオレンス（DV）の認知度」については、「知っている」が男女ともに90%を超えているのに対し、「相談窓口を知っている」のは、男女とも50%を下回った。

■ドメスティック・バイオレンス（DV）という言葉についてどの程度ご存知ですか



■言葉としても、その内容も知っている  
■言葉としては知っているが、内容は知らなかった  
■言葉としても、その内容も知らなかった  
■無回答

■配偶者からの暴力（DV）について相談できる窓口を知っていますか

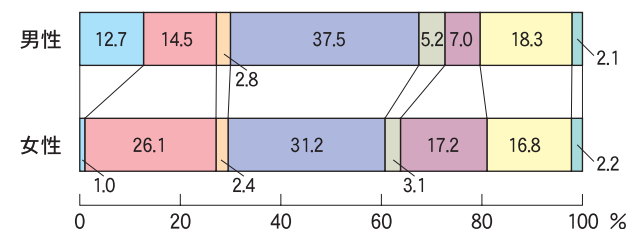


■知っている  
■知らない  
■無回答

\*ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、配偶者（元配偶者）や恋人などパートナーから行われる暴力のことを言います。暴力には、肉体的暴力、精神的暴力、性的暴力などが含まれます。

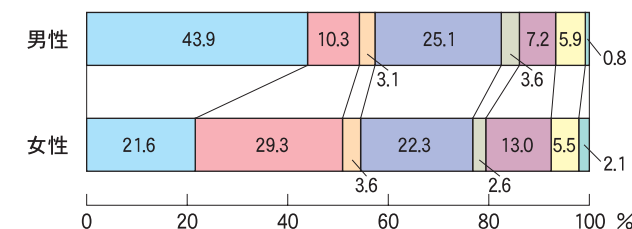
■生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・社会活動、個人の生活」の優先度について

希望



■「仕事」を優先したい  
■「家庭生活」を優先したい  
■「地域・社会活動、個人の生活」を優先したい  
■「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい  
■「仕事」と「地域・社会活動、個人の生活」をともに優先したい  
■「家庭生活」と「地域・社会活動、個人の生活」をともに優先したい  
■「仕事」と「家庭生活」と「地域・社会活動、個人の生活」をともに優先したい  
■無回答

現実



\*「男女共同参画に関する意識調査」の詳細につきましては、岩見沢市役所企画室までお問い合わせください。なお、本調査にご協力いただきました皆様に対し、この場を借りてお礼申し上げます。

# あらいくな人

NPO法人子どもサポートセンター  
「いま、ここ」  
代表 蝦名 美穂さん



いろいろな個性があるから  
いわみざわがおもしろい

えびな・みほ/臨床心理士。スクールカウンセラー。2008年5月から「いま、ここ」代表。

普段は閉まっていることが多い「いま、ここ」の色鮮やかなシャッターを開けると、子どもたちと一緒に作ったという貼り絵で描かれた大きなゾウの看板が、訪れる人々を温かく迎えてくれます。

## ■ 「いま、ここ」は大切な居場所

私の本業は臨床心理士で、岩見沢を中心にスクールカウンセラーとして月に数回、非常勤で働いています。

学校になじめずに不登校になる子どもや、人とのかかわりが苦手な子どもたちの相談にのりながら、子ども自身がどう生きていくのか、私たちがゴールを決めるのではなく、悩める子どもの心に寄り添うことが仕事です。

私は当初、障がいのある子どもを対象に、児童デイサービスを始めたいと思っていましたが、難しい問題もあり、少し方向を変えて、2008年5月にスクールカウンセラー仲間と「いま、ここ」を立ち上げました。私たちスタッフはもちろんのこと、ここを訪れる子どもや大人、全ての人にとって大切な居場所が誕生しました。

## ■ 「いま、ここ」という名前

「here and now (ヒア アドナウ)」という言葉があります。私の大好きな言葉で、「いま」の自分が存在すること、「ここ」で感じ、考えること、「いま、ここ」から出来ることは何? 「いま、ここ」から始められることは何? さあ、「いま、ここ」から始めよう! ユニークな名前は、こんな思いからつけました。

## ■ 私たちの活動、紹介します!

相談支援事業が活動の中心です。対象は、悩みのある子どもや保護者で、親子で来られる方が多いです。子どもの発達や親子の関わり、学校生活や障がいに関する事など、全ての話聞いてから対応しています。

相談は、子どもたちや保護者の時間に合わせるため、夕方と土曜日が中心になります。深川や札幌など岩見沢以外の方も多く、家庭訪問や地方での相談も行っています。

今年は200件くらいの相談がありました。小学生と高校生で増える傾向にあります。

「友達を作りたい!」「でも、うまくいかない…」  
というような子ども達が集まって、小グループで活動する「いま、ここ」サークルも、にぎやかに開催しています。

子どもの専門家支援事業も立ち上げています。子どもたちへの対応について「どうしたらいいのだろう」と困っていたり、不安を感じるなど、学校の先生や保育士、保健師など、子どもの専門家の方々への相談支援も行っています。

もうひとつの事業に、大人の勉強会「まま、ここ」というのがあります。子どもたちの成長を見守る大人(お父さん、お母さん、子どもに関わる専門家)の勉強会で、開催は不定期ですが、講師を招いてみんなで楽しく語り合います。



土曜日の午後は、「いま、ここ」サークルの活動日です。みんなでマスコットづくりに挑戦です。



## ■ やさしい笑顔が見たいから…

「いま、ここ」の相談は有料で、1時間3千円からと少し高いのですが、すべて家賃などの運営費に消えてしまうのが現状です。活動は全くのボランティアですが、スタッフ全員、心からやりがいを感じていますし、「いま、ここ」を立ち上げて本当に良かったと思っています。

カウンセリングを受けたいけれど、経済的な事情で諦めている方や紹介したいけれど料金がなくて困っている方は、ぜひ相談してほしいです。私たちも、様々な制度や基金を活用して、何度でも相談に来られるよう頑張っています。

地域の力や皆さんの温かい応援をいただきながら、これからもスタッフ一同、子どもの笑顔のために活動していきたいと思っています!

「いま、ここ」の相談は予約制です。普段は留守にしていることが多いため留守番電話に連絡先を入れてください。

住所: 市内1条西7丁目 電話: 0126-20-1304

# 男女共同参画市民フォーラムを開催

平成21年8月22日(土)「めぐり愛・ささえ愛 ～ともに歩もう 輝くあしたへ～」をテーマに、平成21年度の市民フォーラムを開催しました。講師に、東レ経営研究所社長の佐々木常夫さんをお招きし、「私は仕事も家族もあきらめない」と題して、今日に至るまでの半生を赤裸々にお話しいただきました。



しばしば問題を起こす自閉症の長男の世話、肝臓病を患った妻がうつ病にもかかり、20年の間に43回の入院と3回の自殺未遂を起こしました。子どもが小さいときは朝5時半に起きて3人の子どもの朝食と弁当を作り、夕方は会社を6時に出なくてはならない日々が続きました。しかし、育児、家事、介護に追われる状況の中でも仕事への情熱を捨てず、大阪、東京と6度も転勤しながら、破綻会社の再建や様々な事業改革に全力で取り組み、2001年には同期のトップで東レの取締役、2003年には東レ経営研究所社長に就任することができました。仕事をあきらめず、家族を守り抜いた佐々木さんの生き方に、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

## 参加者のちょっとひと言

体験に基づいた貴重な話を聞くことができて良かったです。参考にして実践に生かしていきたいです。(30代)

細やかな愛情と温かい気持ちで家族を見守り、共に生きてこられたことに感動しました。(60代)

仕事を持ちながら問題と向き合うことの大切さを感じました。(60代)

心に病のある家族を抱えての両立生活は、計り知れないほど大変だったと思います。私も、仕事に対して計画的に効率よく取り組む努力をしようと思いました。(40代)



講演内容については企画室までお問い合わせください

# 第2期女性のためのステップアップ講座を開催

女性のためのステップアップ講座は、家庭・地域・職場など、あらゆる分野で女性が自信と生きがいをもって積極的に活動してもらいたいという思いから企画したもので、今回は、20代の大学生から70代の主婦まで、幅広い層の受講生とスタッフによって進められました。受講生との交流を通じて、生涯青春の心で学び続けることやチャンスを見逃さずステップアップしていくことの大切さを実感するものとなりました。受講生の感想を紹介します。

## 第1回 ナイス・ミドルな生き方とは 札幌大谷大学短期大学部教授 平岡 祥孝さん

年齢や性別、個人の立場にこだわることなく、積極的に社会参加するなど、今よりもさらに前向きな生き方をしようと思いました。



## 第3回 環境とおサイフにやさしい暮らしのコツ 環境カウンセラー 石塚 祐江さん

省エネを意識して生活してきましたが、まだまだエコな生活ができることを知りました。今一度角度を変えて生活を見直したいと思います。



## 第4回 転ばぬ先のライフプランニング 岩見沢市職員 小泉 健さん

若い世代の方や生活設計の見直しを考えている方にも、ぜひ聞かせてあげたいと思いました。とても勉強になりました。



## 第2回 青年海外協力隊に参加して (インドネシア) 管理栄養士 竹藪 友美さん

興味のある話だったので、とても楽しく聞くことができました。来年は、私も協力隊に参加します!



## 第5回 健康体操でボディメンテナンス リズム体操講師 帖佐 諒子さん

運動は得意でなかったのですが、気がついたらみんなと楽しく体を動かしていました。これからも頑張ってください。



## 修了式&茶話会

修了式を迎えた14名の受講生一人ひとりに、市民会議代表から修了証書が授与されました。受講生の皆さんは少し照れながら、笑顔で受け取っていました。



次回はあなたが受講生!

■新南町町内会女性部とのお茶の間講座を開催 平成21年12月6日(日) 会場：新南町町内会館



新南町町内会女性部の研修交流会に声をかけていただき、多くの皆さんとお茶の間講座を開催しました。新潟県中越え震災の記録映像を見た後、女性の視点から見てきた防災・災害復興時の様々な課題について、多くの意見が出されました。また、災害時の避難場所を知らない方が多くいることも分り、研修会に参加されていた町内会長から、町内会としての現在の取組みや今後の対応などについてお話いただきました。

私たちの周りで起きている様々な災害が他人事ではなく、何が起きても困らないための、近所同士のお付き合いの大切さを皆さんと再確認しながら、防災の分野にも女性の視点が必要であることを理解していただく良い機会となりました。

研修会終了後は、笑いの絶えない賑やかな交流会が続いたそうです。



■帯広市男女共同参画推進員との交流研修を実施 平成22年2月24日(水)・25日(木) 帯広市

市民会議としてさらに知識を深めるため、例年、他市との交流研修を行っていますが、今年度は、「帯広市の男女共同参画推進員制度」や「市民と協働のまちづくり」などについて研修しようと、帯広市の推進員の皆さんと交流してきました。

帯広市には、男女共同参画推進員制度があり、平成17年度から男女共同参画講座の修了者が推進員として登録してきましたが、平成21年度には、興味と関心のある市民であれば、誰でも登録することが可能になったそうです。

現在、19名の推進員が4つのグループに分かれて、それぞれの活動を行っています。個々の活動が中心になるため推進員が一体となって事業に取り組む機会が少なく、全体的な活動をしたいという意見が出されていました。



推進員の活動内容

- \*男女共同参画セミナーの企画・運営
- \*情報誌「カスタネット」の編集
- \*推進員自主企画活動(寸劇の出前講座)
- \*その他男女共同参画事業への協力



帯広市では、市民と協働のまちづくりの一環として「市民提案型協働のまちづくり支援事業」が実施されています。

市民が提案した事業に対し、市が補助金を交付するというもので、申請時にはすべての団体が審査員前にプレゼンテーションするそうです。年度末には10万~20万円の補助金の交付が決し、新年度に入るとすぐに活動ができるため、多くの市民に活用されていました。行政と市民による協働のまちづくり、とても興味深い内容でした。



翌日、市民活動交流センターを見学して来ました。中心街にあるデパートの空きフロアを市が借り上げ、市民活動の場として、いつでも無料で利用できるようになっていました。親子や高齢者が自由に楽しめる子育て活動室や高齢者活動室、卓球などの軽運動が可能な多目的室などがあり、市民の皆さんが生き生きと活動していました。

「岩見沢にもあったらいいな」と思える施設でした。2日間の研修を終え、活動形態を比較することはできませんが、学ぶことの多い交流となりました。

== INFORMATION ==

■いわみざわ男女共同参画実践プランの事業評価を実施

岩見沢市は、いわみざわ男女共同参画実践プラン(平成19年3月策定)で示された各施策が効果的に実施されるよう、その実績・効果などを評価し、市民会議をはじめとする関係団体との意見交換を行うなど、平成20年度の事業評価を実施しました。皆さんからいただいたご意見やご提案を参考に、今後の施策の推進に反映させたいと思います。



市民会議メンバー募集中!

市民会議は男女共同参画をテーマに、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行っています。現在、市民フォーラムや講座の企画・運営、情報誌の編集など、メンバーそれぞれのライフスタイルに合わせ、にぎやかに活動しています。興味を持たれたあなた!気軽に参加してみませんか?年齢や性別は問いません。詳しくは企画室までご連絡ください。

編集後記

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議として、実践プランの推進に向けた活動も4年目を迎えるようとしています。これまで、様々な事業を実施してまいりましたが、私たちの活動も年々充実してきたのではないかと、少々自負しているところです。

今年度の活動の総仕上げとして編集した情報誌には、男女共同参画に関する意識調査の概要を4ページにわたり特集しました。多くの市民の皆様にご覧いただき、ご意見・ご感想などお寄せいただけたら幸いです。

ア・ライク VOL.8 2010年3月

発行 岩見沢市企画財政部企画室  
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL: 0126-23-4111(内線422)  
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp

企画・編集 岩見沢市男女共同参画情報誌編集委員会  
(いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議)